

定例部長会議開催結果 概要

●日時	令和6年1月4日（木） 午後1時30分から午後3時5分まで			
●場所	3A会議室			
●出席者	■は出席（代理出席は○）			
	■ 市長	■ 内田副市長	■ 高橋副市長	■ 教育長
	■ 政策部長	■ 総務部長	■ 暮らし安心部長	■ 文化スポーツ部長
	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長	■ はだの魅力づくり担当部長
	■ 都市部長	■ 建設部長	■ 上下水道局長	■ 教育部長
	■ 消防長			
進行：副市長 事務局：総合政策課長、課長代理（政策調整担当）、担当 陪席：秘書課長				
●会議	1 市長あいさつ			
	2 報告事項			
	(1) 指定管理者の令和6年度事業計画について [行政経営課・公園課・文化振興課・スポーツ推進課・こども育成課]			
	(2) 令和5年度12月期人事評価の結果について [人事課]			
	(3) 秦野市国民保護計画の改定（案）等について [地域安全課]			
	(4) 第7期秦野市障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画（案）について [障害福祉課]			
	(5) 秦野市電子地域通貨事業基本計画（案）について [産業振興課]			
	(6) 秦野市地域公共交通計画（案）について [交通住宅課]			
(7) 土地利用委員会調整部会の審議案件について [開発指導課]				
3 その他				
●会議概要				
1 市長あいさつ				
<p>・昨年8月の総合計画のヒアリング結果は、新年度予算に反映していると思うが、今年度中に行うべき取組の進捗状況や前倒しできる取組がないか改めて確認してもらいたい。</p> <p>・16日から新年度予算査定を行うが、当初要求時点の歳出歳入の乖離は約55億円で平成30年度以降最大となっており、厳しい査定になると考えている。</p> <p>・総合計画の推進はもちろん、物価高騰対策、地域コミュニティの強化や様々な防災・減災対策など、新たな財政需要に迅速かつ的確に対応する必要がある。選択と集中を強化し、行政サービスの低下を招くことがないようにしながら「ふるさと秦野」を飛躍発展させる予算にまとめていきたい。また、事業の見直し等による影響を市民感覚で把握し、庁内調整をよく図ったうえで査定に臨んでももらいたい。</p> <p>・石川県の能登半島地震について、かほく市長から支援要請があり、ブルーシート等の物資を届けるため職員を派遣する。今回の災害支援に限らず、各部課等でも様々な課題に柔軟に対応してもらいたい。</p> <p>・今年度も最後の四半期となる。これからの3か月は、令和5年度の総仕上げと新年度の準備、議会对応と、あっという間に過ぎていくと思う。部等の</p>				

長は事務事業の進行管理に十分気を配り、目標と計画性をもって仕事に取り組んでもらいたい。また、年末年始の休み明けでもあり、職員の変化にもしっかりと目配せをしてもらいたい。

・寒さはこれからが本番だが、体調管理に十分留意をして、職員にもしっかりとオンとオフをうまく切り替えながら職務に励んでもらいたい。

2 報告事項

(1) 指定管理者の令和6年度事業計画について

[行政経営課・公園課・文化振興課・スポーツ推進課・こども育成課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. はだの丹沢クライミングパークの事業で、「川崎市健康ポイント事業との連携」とはどのような内容か。

答. 川崎市の事業で、歩いて貯めたポイントを川崎市立の小学校へ寄附することで、景品が当たる抽選に参加できるもの。

その景品として、指定管理者である神奈川県公園協会・小田急電鉄共同事業体がクライミングパークの招待券を出している。

意見. 「ポイント事業との連携」は、様々な事業に活用できる手法だと思うので、他の事業でも検討してもらいたい。

(2) 令和5年度12月期人事評価の結果について

[人事課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 基準期間の人事評価の平均点によって昇給の号数が上がるなど、特別昇給の対象となった職員はどのぐらいか。

答. 人事評価の結果により、令和6年1月1日付けの昇給区分が標準より高くなった職員は15名、低くなった職員は4名である。

(3) 秦野市国民保護計画の改定(案)等について

[地域安全課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(4) 第7期秦野市障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画(案)について

[障害福祉課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(5) 秦野市電子地域通貨事業基本計画(案)について

[産業振興課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 資料の22ページ、「5-5 ポイント付与の考え方」の(3)市

民の健康づくりや地域活動の促進に「カーボンニュートラルに資する手段での市内周遊関係」とあるが、具体的にはどのようなものか。

答. 他市では、市役所本庁舎に自転車で来庁した場合にポイントを付与する事例などがあり、カーボンニュートラルに資する交通手段の促進に利用することを考えている。

(6) 秦野市地域公共交通計画（案）について [交通住宅課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. パーソントリップ調査等の利用はどのようなか。

答. 交通手段を問わず、人の移動を把握するパーソントリップ調査は「はだの交通計画」の策定時に実施した経緯がある。今計画は「公共交通」を対象とした計画であることから、その利用者及び交通事業者をなど、公共交通の利活用に関する対象に特化したアンケートを実施した。

問. 計画の位置付けについて、「はだの交通計画」との関係はどのようなか。

答. 「はだの交通計画」は公共交通を含め、全ての移動手段やインフラ整備等交通全体を対象としている。地域公共交通計画と特に上位下位の位置づけはないが、当然整合を図り連携しながら進めていくものと考えている。

問. 「ライドシェア」に関する記載はどのようなか。

答. 公共交通ではライドシェアだけでなく自動運転、AI オンデマンド等様々な新しい取組が想定される。現時点ではこれらの様々な取組みを「次世代交通」として位置付け、ライドシェア含め社会状況等の変化に柔軟に対応していく。

意見. この計画は様々な部が関わるものになると思うので、それぞれの部署が主体的に取り組むような流れを作ってもらいたい。

(7) 土地利用委員会調整部会の審議案件について [開発指導課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 2ページ4番の資材置場の使用内容はどのようなか。

答. 貸出先を募集中で未定と聞いている。

意見. 資材置場としての使用に当たっては、近隣の迷惑とならないようにしてほしい。

問. 3ページの主要な環境創出行為の進捗状況で、2番の共同住宅建設事業が、着手待ちとなっている理由はどのようなか。

答. 建築確認申請まで終わっているが、事業者と施工者の間で着手時期を調整中と聞いている。